

東京メトロ発足1周年記念特別企画

METROPOLIS ベスト・オブ・モーツァルト!

東京メトロは、17年4月に発足1周年を迎えます。
今回この記念として、日頃のご愛顧に感謝を込めてクラシックコンサートを開催いたします。
多数の方のご応募をお待ちしております。
東京メトロは、今後もお客様に選ばれ利用していただける地下鉄を目指してまいります。
皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成17年2月28日(月)

19:00開演 (18:20開場)

紀尾井ホール



四ツ谷駅・麹町駅・赤坂見附駅・永田町駅 下車

入場無料
抽選で800名様ご招待

お申し込み方法は裏面をご覧ください。

〈オール・モーツァルト・プログラム〉

ALL MOZART PROGRAM

『フィガロの結婚』序曲

"LE NOZZE DI FIGARO" OVERTURE

ピアノ協奏曲第20番

二短調
K.466

PIANO CONCERTO No.20 IN D MINOR

交響曲第41番『ジュピター』

ハ長調
K.551

SYMPHONY No.41 IN C MAJOR "JUPITER"

やむを得ない事情により、曲目などを一部変更する場合もございますので、予めご了承ください。

主催:東京地下鉄株式会社 協賛:財団法人メトロ文化財団
お問い合わせ:

東京メトロ発足1周年記念特別企画事務局 03-5640-0822
(10時~17時/土・日、祝日、年末年始を除く)

<http://www.tokyometro.jp/>



指揮:小泉和裕

(都響首席客演指揮者)

KAZUHIRO KOIZUMI, CONDUCTOR



ピアノ:中村紘子

HIROKO NAKAMURA, PIANO

撮影:尾形正茂 提供:ソニー・ミュージックジャパン・インターナショナル



管弦楽:東京都交響楽団

TOKYO METROPOLITAN SYMPHONY ORCHESTRA

司会:朝岡聡

SATOSHI ASAOKA, MC



メトロ文化財団

東京メトロ発足1周年記念特別企画 METROPOLIS CLASSICS ベスト・オブ・モーツァルト!

お申し込み方法

ハガキ1枚につき1名または2名様ずつのご応募で、
抽選で800名様を無料でご招待します。

1月31日(月) <必着>までにハガキで

代表者の①お名前 ②年齢・性別 ③ご希望人数(1名または2名)

④チケット郵送先の住所 ⑤電話番号

以上を明記の上、下記までお申し込み下さい。

※車椅子席をご希望の場合は、ご利用台数とお付き添いの有無をご明記ください。

(お申し込みはご本人様とお付き添い様合計2名までとさせていただきます。)

※未就学児はご入場いただけません。

※応募は1名様1回限りさせていただきます。

〒103-0014

かきがら

東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-9 協栄ビル

東京メトロ発足1周年記念特別企画 事務局

2月10日までに座席指定券の発送をもって当選発表に代えさせていただきます。(お席のご希望については承りかねますので、ご容赦ください。)



●四ツ谷駅(東京メトロ丸ノ内線・南北線・JR線)より徒歩6分

●麹町駅(東京メトロ有楽町線)より徒歩8分

●赤坂見附駅(東京メトロ銀座線・丸ノ内線)より徒歩8分

●永田町駅(東京メトロ有楽町線・半蔵門線)より徒歩8分

※お客様用の駐車場はございませんのでご了承ください。

小泉和裕(指揮) KAZUHIRO KOIZUMI <CONDUCTOR>

東京芸術大学で山田一雄氏に、ベルリン・ホッホシューレでラーベンシュタイン教授に師事。第2回民音指揮者コンクール第1位。第3回カラヤン国際指揮者コンクール第1位入賞後、ベルリン・フィルを指揮してベルリン・デビュー。同楽団定期演奏会をはじめ、フランス国立放送響、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響等、ヨーロッパ各地で精力的な指揮活動を行い、ルービンシュタイン、ロストロポーヴィチとも協演。またシカゴ響定期公演ほか、ボストン響、モントリオール響などにも客演。ロイヤル・フィルから定期的に招かれ、レコーディングも行う。これまで新日本フィル音楽監督、ウィニベグ交響楽団音楽監督、東京都交響楽団首席指揮者などを歴任。現在東京都交響楽団首席客演指揮者、大阪センチュリー響首席指揮者。奇を衒わないオーソドックスで深みのある演奏が高く評価されている。

中村紘子(ピアノ) HIROKO NAKAMURA <PIANO>

早くから天才少女として名高く、第28回音楽コンクールにおいて史上最年少第1位特賞受賞。翌年、N響初の世界一周公演のソリストに抜擢され華やかにデビュー。第7回ショパン・コンクールで日本人初の入賞と併せて最年少者賞を受賞。以来日本のピアニストの代名詞として、国内外3500回を超える演奏を通じて聴衆を魅了し続けている。ショパン、チャイコフスキーなど海外の国際コンクールの審査員、浜松国際ピアノコンクール審査委員長、浜松国際ピアノアカデミー音楽監督などとしても活躍。16年秋にはデビュー45周年を迎え、全国で記念リサイタル・ツアーを行なうなど意欲的な活動が予定されている。10月にavex-CLASSICSより第2弾CD『GRAND RECITAL』を、12月には初DVD『NAKAMURA HIROKO Plays Chopin』をリリース。

朝岡 聡(司会) SATOSHI ASAOKA

慶応義塾大学法学部卒業後、昭和57年テレビ朝日にアナウンサーとして入社。スポーツ番組の中継を担当後、テレビ朝日の看板アナとして、「ニュースステーション」「はなきんデーターランド」等を担当。平成7年からはフリーアナウンサーとして「筋肉番付」「SPORTS TODAY」などに出演。クラシック音楽に造詣が深く、NHK-FM「クラシックリクエスト」のパーソナリティやテレビ東京「ミューズの楽譜」ナレーションも務めている。中学・高校とプラスバンドでトランペットを吹き、大学ではバロック・アンサンブルに参加してアルトリコーダーを演奏していた。現在もリコーダーのレッスンを受け、演奏会を開くほどの凝り性である。近年はコンサートの司会としても活躍し、都響の音楽鑑賞教室では子供たちから人気を呼んでいる。

東京都交響楽団 TOKYO METROPOLITAN SYMPHONY ORCHESTRA

東京オリンピックの記念文化事業として東京都が昭和40年に財団法人として設立。歴代の音楽監督には(故)森正、(故)渡邊暁雄、若杉弘が歴任。現在、音楽監督 ガリー・ベルティニ、名誉指揮者 ジャン・フルネ、首席客演指揮者 小泉和裕、ソロコンサートマスター 矢部達哉、コンサートマスター 山本友重。定期演奏会、プロムナードコンサート、東京芸術劇場シリーズなどの主催公演をはじめ、小・中学校音楽鑑賞教室、オペラ、レコーディングなど年間約160回の公演を行っており、日本を代表するメジャーオーケストラとして活躍している。これまでにロシア、ヨーロッパ、アメリカ、中国などで演奏ツアーを成功させて喝采を浴びた。平成3年「京都音楽賞大賞」を受賞。創立40周年をむかえ、常任指揮者ジェームズ・デブリーストの就任が話題を呼んでいる。